

広島県中小企業団体中央会 2022年12月分情報連絡員一覧票

(食料品)

●食料品

中国醤油醸造協同組合

12月の出荷量は前月比9.2%増加、前年同月比2.8%増加。売上高は前月比8.0%増加、前年同月比1.0%増加となった。

広島県東部菓子商工業協同組合

原材料などの諸経費の値上がり、収益を圧迫し売上げが上がっても収益が出ない。

(繊維工業)

●繊維工業

一般財団法人広島県織物工業会

販売数量が伸びず在庫負担増加、コスト増加により収益は良くない状況が続いている。今後についても先が見通せずいつ好転するかはわからない。

●木材・木製品

広島県木材協同組合連合会

【全国】

- 令和4年11月の新設住宅着工戸数は72,372戸で前年同月比▲1.4%、季節調整済年率換算値では838千戸(前月比▲3.7%)となった。利用関係別では、持家は21,511戸で前年同月比▲15.1%、貸家は29,873戸で+11.4%、分譲住宅は20,642戸で▲0.8%、また木造住宅は41,751戸で対前年同月比▲7.0%であった。
- 住宅着工動向としては、前年同月比は貸家が増加を維持しているものの持家の減少は12ヵ月連続となり、分譲も4ヵ月ぶりの減少(このうち戸建て分譲は19ヵ月ぶりの減少)に転じ、全体では2ヵ月連続の減少となった。また、木造住宅を見ると4月以降8ヵ月連続の減少となっている。

【広島県】

- 今年11月の着工戸数は1,624戸で、対前年同月比▲4.0%、うち持家は401戸で▲20.8%、貸家は874戸で+18.1%、分譲は349戸で▲21.7%であり、県全体の住宅着工動向は前年同月比が4ヵ月連続の減少となった。
- 木材価格は落ち着きが見られ始めているが、その他の資材の高騰が住宅価格を押し上げており、特に持家の新規受注が進んでいないとみられる。今後、住宅の省エネ性能、耐震性能向上、住宅ローンの固定金利引き上げなど住宅はさらに高価格化が進むと考えられる。

●出版・印刷・同関連

広島県印刷工業組合

試行錯誤の繰り返しによって少しずつ仕事が戻ってきている。今出来ることや、将来のために今打つべき一手を考える重要な時期だと捉えたい。

(化学・ゴム)

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

ウクライナ侵攻、急激な円安により原材料、電力ガス、運賃等が毎月上昇しており、売価への転嫁が急務である。また中国からのサプライチェーンの見直し等により景況感は悪化の一途である。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

- 諸材料の高騰が事業採算を大きく圧迫している。
- 自動車関連は回復傾向が見られるが、変動幅が大きく不透明感が強い。

(窯業・土石製品)

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

- 出荷状況
 - 令和4年12月 2,708 m³ (対前年比 93.9%)
 - 令和4年11月 2,996 m³
 - 令和3年12月 2,884 m³
- 令和4年度想定数量 780,000 m³

(鉄鋼・金属製品)

●金属製品

広島金属工業協同組合

- ・業界動向は基本高位安定。受注状況は国内海外ともに好調で納品が追いつかず注文残が増加している。
- ・電子部品、エンジンの調達問題が再燃しており増産をかけるうえでマイナス要因となっている。
- ・主要取引先の部品調達不安による生産下振れが、今後想定されるリスクと言える。

●鉄鋼業

軀鉄鋼協同組合連合会

材料費、燃料費、電気料金の高騰が高止まりの状態にある。今後も更に物価の上昇が懸念され経営を圧迫することが予測される。

(一般機器)

●一般機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合

スポット受注や出荷時期の変更が主な要因となり、日工会の12月21日発表の11月工作機械受注実績は前年同月比▲7.7%の1341億8600万円と2ヶ月連続の減少となった。1400億円を下回るのは3ヶ月ぶり。年明け以降の受注状況は欧米等での利上げや、中国の景気減速、新型コロナ感染拡大が設備投資に影響して、しばらく落ち着いた動きになる予想。

●電気機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合(電気機械器具)

新規受注はやや鈍化しているものの、増加していた受注残により、3月までは高稼働が続く見込であり、売上は前月比8%増加、前年同月比5%増加となった。また、半導体関連の部品仕入はやや改善している。

電気機器は、製品価格の高騰により需要減退リスクがある。電子部品は中華圏向けスマホの販売不振の影響が出てくる可能性がある。

(輸送用機器)

●輸送用機械器具(自動車)

東友会協同組合

マツダの生産は全体ではコロナによるロックダウンや半導体の供給問題は改善され、全体的には正常な水準に戻りつつある。

12月度自動車国内販売は344千台、前年同月比+2.4%と4ヶ月連続で増加。(登録車は▲4.4%と減少、軽自動車は+15.0%と4ヶ月連続で増加。)マツダ車は14.1%減と7ヶ月ぶりに減少。また、マツダ車の11月の海外販売台数は、欧米では回復傾向。合計台数は74.5千台、前年同月比▲5.0%と減少となった。加えて、マツダの輸出台数は、前年比1.6%と伸びは鈍化したが、5ヶ月連続で増加中。国内生産台数は、前年同月比▲17.3%と一部の新車種が半導体影響を受けて減産したが、全体的には回復基調にある。

●輸送用機械器具(造船)

中国地区造船協議会

県内、2,500総トン以上の令和4年11月の船舶建造許可実績は5隻、418,750総トンであった。(前月4隻94,670総トン。前年同月5隻198,980総トン)なお、内訳は輸出船が5隻で、貨物船であった。

(一社)中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化は無い。

(卸売業)

●卸売業(総合)

協同組合広島総合卸センター

一定のコロナ沈静化の下、個人サービス消費の正常化から派生する需要増加や、近年逸失していた設備投資機会の増加が確認されるもの下記のようなことを懸念する経営者が多く見られる。

- ・仕入れ価格高騰の価格転嫁が未だ十分に進んでいないこと
- ・深刻さを増している人手不足を補う業務合理化や省力化投資への取り組みの遅れ
- ・海外経済減速の国内経済への影響
- ・賃上げへの対応

●卸売業(電設資材)

広島県電設資材卸業協同組合

物価高騰、原材料高騰、半導体不足による納期遅延など未だ不透明な状況である。4月には第二弾の照明器具等の値上が行われる。スムーズな価格転嫁が必要。

●卸売業（畳・敷物）

広島県畳製品商業協同組合

畳表の売上は、前月比144.7%、前年同月比149.8%と増加し、コロナ渦でも営業活動が実を結ぶ結果となった。累計での対前年比も100.9%と前年を上回った。価格については円安の影響で上昇しているが需要も増加している。

●卸売業（家具）

リビズ株式会社

商品の値上げを実施している。

（小売業）

●各種商品小売業

広島生鮮三品連絡協議会

12月度中央市場青果部及び水産部の取扱高は、全国旅行支援、帰省の効果の回復によって、前月比、前年同月比を上回ったが、コロナ感染に対する警戒感から忘年会等も少人数開催が多くなり、業務筋での回復は見られなかった。一般小売については、食料品全般の価格高騰により売上げ回復となるものの、販売価格の設定に苦慮し、収益が伸び悩んだという声が多かった。

協同組合三次ショッピングセンター

12月は中旬までは好調だったが下旬にかけての大雪の影響で売上が伸び悩んだ。特にメイン客層であるシニア層は積雪によって来店が困難となった。

今期は省エネ化投資を実施しており電気使用量は対昨年比70~80%で推移し、電気料金を削減できていたが、続く電気料金の値上がりによって12月はとうとう対前年比を上回った。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

令和4年12月度販売実績 99%（前年同月比）AV商品 90%、白物商品 102%、薄型テレビ 93%（内有機EL 116%）、DVD 78%、冷蔵庫 98%、洗濯機 99%、IHクッキングヒーター 104%、エコキュート 282%、エアコン 106%、炊飯器 110%、電子レンジ 103%、掃除機 144%

電気代の値上がりで、省エネ家電の需要が高まると、販売単価アップが期待されるが販売を押し上げる効果は期待薄。

（商店街）

●商店街（各種商品小売業）

呉本通商店街振興組合

長く空き店舗となっていた時計店跡地で1月に巻き寿司専門店がオープンすることになった。当商店街では久々の新店の開店となる。一方で廃業した店舗もあり、長引くコロナ渦で売上が伸び悩んだことが憶測される。

（サービス業）

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

- ・車検台数は、前月比▲10.1%、前年同月比▲11.9%
- ・車検場収入は、前月比▲10.5%、前年同月比▲8.4%
- ・重量税・登録印紙税の売上は、前月比▲8.0%、前年同月比▲7.0%

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

一部では稼働の見込みはあるが、全体では例年通り下降の見通し。

●情報サービス

一般社団法人広島県情報産業協会

- ・電子部品の入手難は少しずつ解消している。
- ・人材不足、東京等の大企業に若く優秀な人材が流出している。もしくは広島にいてもテレワークで大都市企業へ就職する流れが出来ており、広島県下に本社を置く中小企業の人材確保は一層厳しくなっている。

（建設業）

●工事業

広島県室内装飾事業協同組合

カーテン、敷物、壁装クロス等の3品目合計について、11月度は前月比▲30.7%、前年同月比+11.3%、前年累計各対比+2.7%と前年数値よりも良かった。

福山地区電気工事業協同組合

- ・12月受付件数は前年度と比較して増加となりました。
- ・新型コロナウイルスとロシア・ウクライナの影響で部材の到着が遅れており早く正常に戻ってほしい。

(運輸業)

●道路貨物運送業

広島東部トラック運送事業協同組合

- ・12月の売上高は前月比では減少、前年同月比は増加。
- ・自動車関連は半導体不足の解消も進み、回復傾向にある
- ・軽油価格は高騰したまま高値圏で推移し利益を圧縮している
- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響による受注減少のほか、燃料費高騰が原因で倒産件数が最多となっている。

松永地区トラック事業協同組合

- ・12月の売上高は、対前年同月比では増加、対前月比では変化はなかった。
- ・運賃の値上げや燃料サーチャージ制の導入など言われているが、なかなか実現できていないのが現状で、どちらかと言うと長距離輸送を避ける傾向が出ている。令和6年4月からの時間外労働の上限規制が始まると、月間の運行回数を減らすか、長距離輸送を減らすしか今のところ手立てがなく、更に現状のように燃料価格が高騰している中では、走れば走るほど赤字となる。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

- ・船員の高齢化が進み船員不足の状態が続いており、若年船員が育っていない
- ・運賃や用船料の改善がみられない

(その他)

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

- ・歓楽街の飲食店業界は、客足がやや戻りつつあるものの、単価の安いお店やカラオケ店への若年層の流入が増えている一方、スタンド等小規模飲酒店は厳しい状況が続いている。
- ・不動産市場については、事業所用地・建売建築素地不足により業者土地仕入れ価格の上昇が続いている。
- ・マンション販売については新築販売がやや鈍化している。中古マンションについては依然として販売価格が高値で推移している。